

コピバン初?! 『ライブの見どころ♪聴きどころ♪』を一挙公開!!



本日の「FLASH!」ライブは、クイーンのクレイジー・ツアーの最終日でもある、1979年12月26日のハマースミス・オテオン公演の再現を目標に、以下の本家のセットリストの中から、14曲を選曲して演奏します。

QUEEN - THE CRAZY TOUR / December 26, 1979

Jailhouse Rock, We Will Rock You (fast), Let Me Entertain You, Somebody To Love, If You Can't Beat Them, Mustapha, Death On Two Legs, Killer Queen, I'm In Love With My Car, Get Down Make Love, You're My Best Friend, Save Me, Now I'm Here, Don't Stop Me Now, Spread Your Wings, Love Of My Life, '39, Keep Yourself Alive, drum/guitar solos (including Silent Night), Brighton Rock (ending), Crazy Little Thing Called Love, Bohemian Rhapsody, Tie Your Mother Down, Sheer Heart Attack, We Will Rock You, We Are The Champions, God Save The Queen

♪ココが聴きどころ!!

「Opening SE(Overture)」、「Bohemian Rhapsody」のオペラパート、そして、「God Save The Queen」。この3つの音源は全てFLASH!による“手作り”です。まず、「Opening SE」は、本家クイーンはシンセを使用していますが、FLASH!はレスペギターを使用。雷鳴もブライアンと同様に実際の雷を録音したものを使用しています。

そしてバンド最大の自信作と自画自賛している、「Bohemian Rhapsody のオペラパート」は、全部で、**77のフレーズを全員で個別に録音**し、それを1つに編集して作り上げました。もちろん、本家の音源は一切使用していません。

「God Save The Queen」の音源については、ギター多重録音をしたホヤビーの感想から・・・

- その1. VOX アンプとティーキーアンプは、けっこう複雑に組み合わされていたこと。
- その2. 一番高い音は1弦の24フレットを2度上にチョーキングしている音。
- その3. 一番低い音は6弦EをGにまでダウンチューニングしていること。(普通あり得ない) おそらくレスペ以外ではコピー不可ではないかと思われます。(やはりKzはすごい!)

さらに、その多重録音に被せるドラムについて、ソルジャー曰く・・・

“以前、スネアでタムの音が出せるか? という実験をやった時と同じように、マーチング・シンバルの音はクラッシュシンバルで、大太鼓はバスドラで、ティンパニーはフロアータムで、それぞれ叩き方を工夫して録音したら面白い出来になった!”と。



♪ココが見どころ!!



■ソルジャー・テイラー / Drums

ロジャーに敬意を表し、バスドラに自分の顔をプリントしました。また、銅鑼も手作りですが、本家の銅鑼をサイズだけでも皆様に体感して頂きたく、「60インチ=直径154.2cm」で制作。ちなみに、これだけのサイズでありながら低予算、且つコンパクト収納が自慢です。(^^)v

■ホヤビー・メイ / Guitar

本家の VOX アンプ9台には及びませんが、今回4台セットしました。(実際使用するのは2台だけですが)また、衣装においてはベストに注目! 蜘蛛の巣を白マジックで手描きしました。背中 of 蜘蛛の巣だけ、ちょっと手元が狂った箇所があります。見つけられるかな? (^_^;

■ジスカ♀M / Vocal & Piano

今回の衣装のポイントは赤パンツに映える青の膝サポーター。ちなみにサービス精神旺盛なフレティは同ツアーのリバプール公演で地元サッカーチーム(2チーム)のチームカラーに配慮して左右別々の色(青と赤)を着けたそうです。♪

■ディーキー・TOHRU / Bass

今回の衣装(?)としては、皮ジャンに加え、靴、グレーシャツ、黒ネクタイと取り揃えましたが、今時、この格好で街中は歩けなさそうな普段着ルックが注目ポイントです(^-^)